

# 持っているいいものを磨いて国際都市に

## 新幹線開業に向けての金沢・富山の観光政策視察 新幹線・交通対策特別委員会

新幹線・交通対策特別委員会（小関信夫委員長12人）は1月19日・20日の2日間、新幹線開業に向けての観光政策を意欲的に進めている金沢市と富山市を視察しました。日本共産党市会議員団からは委員である平良木議員が参加しました。以下は参加した平良木議員の感想です。

金沢市では『もてなし』の心を象徴した「もてなしドーム」が天をおおい、意気込みが感じられました。しかし、詳しく話をお聞きすると、「もともと持っている良いものを磨くことで国際都市に」ということに力を入れており、「まちづくりの基本は、福祉・環境・教育であり観光は後で付いてく

るもの」ということが市長の考えであることが強調されました。19日に立ち寄った高岡市と20日に訪れた富山市で目を引いたのは、市内を走るライトレールです。（高岡市は射水市・万葉線、富山市は内川セントラム・ポートラム）

私鉄やJRの在来線を路面化したり、市内環状線を増設したりした低床の路面電車で、停車場も数多く、15分おきの運行で、市民の評判も上々、利用客も多く経営も安定しているとのこと。上越市での導入は、雪対策もあり簡単ではありませんが、一定の示唆を感じました。



①



②



③



④

委員会視察での写真  
①金沢市 もてなしドーム  
②色彩鮮やかなライトレール  
③万葉線駅舎  
④富山市 ポートラム

政治資金疑惑の徹底解明、後期高齢者医療制度の即時中止、大企業の横暴勝手な雇用破壊を許すな・・・

## 雪の中、政治革新を訴え

1月28日、午後4時半から高田旧長崎屋前で日本共産党の街頭演説会が行われました。参議院議員選挙北陸信越東海ブロックの比例代表予定候補者であるかわえ明美さんと新潟選挙区予定候補者のたけだ勝利さんが市民に熱く訴えました。

日本共産党市会議員団も4人全員揃って、車上から手を振って日本共産党への支援をアピール。市民約60人ほどが熱心に日本共産党の政策に耳を傾けました。

まず最初にマイクを握ったたけだ勝利さんは、「これまでJAや森林組合、漁協、医師会など比較的保守の基

盤といわれた組織の皆さんと懇談してきた」「自民党の重石が取れ、日本共産党に対する理解が高まっていることを実感した」として、「幅広い分野の皆さんと共同して政治を前に進めよう」と訴えました。

かわえ明美さんは、まず民主党小沢代表の政治資金問題に触れながら、「政治と企業の癒着を生む企業献金はきっぱりを廃止をすべきだ」と主張しました。また雇用の問題では、地元（愛知県）のトヨタが社会的責任を放棄してどんどん労働者の雇い止めをしていることを取り上げ、これまでためこんできたお金のほんの一部をまわせば雇用は維持でき、労働者の暮らしは守れる」として、大企業の横暴、身勝手なやり方に対して政府がきちんと改めさせるべきだと訴えました。

横殴りの雪とつめたい風の中、熱心に演説を聞いていた人たちから「その通り共産党がんばれ！」などと熱い声援も飛びました。

なお、高田地元の平良木市議が司会を務めました。



## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.219 2010年2月7日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)  
樋口 良子 544-6802 (中門前3)  
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 525-9096 (上中田)

### 新春の集い

平良木議員地域

◎2/13(土)18時～

上野議員地域

◎2/14(日)15時～

樋口・橋爪議員地域

◎2/21(日)13時半～